

製品名: ST6GAL1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab18325**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:200,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	

抗原情報

遺伝子名	ST6GAL1 SIAT1 Beta-galactoside alpha-2,6-sialyltransferase 1 (Alpha 2,6-ST 1;EC 2.4.99.1;B-cell antigen
別名	CD75;CMP-N-acetylneuraminate-beta-galactosamide-alpha-2,6-sialyltransferase 1;ST6Gal I;ST6GalI;Sialyltransferase 1)
遺伝子 ID	6480.0
SwissProt ID	P15907
免疫原	アミノ酸配列範囲 63-135 のヒトタンパク質からの合成ペプチド

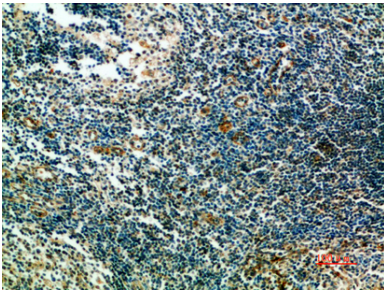
背景

この遺伝子は糖転移酵素ファミリー 29 のメンバーをコードしています。コードされるタンパク質は II 型膜タンパク質であり、CMP-シアリン酸からガラクトース含有基質へのシアリン酸の転移を触媒します。このタンパク質は通常ゴルジ体中に存在しますが、タンパク質分解によって可溶性となり、細胞表面の糖鎖決定因子および分化抗原である HB-6、CD75、および CD76 の生成に関与しています。この遺伝子は誤って CD75 と呼ばれてきました。2 つの異なるアイソフォームをコードする 3 つの転写バリエーションが報告されています。[RefSeq 提供、2009 年 8 月],触媒活性: CMP-N-アセチルノイラミン酸 + β -D-ガラクトシル-1,4-N-アセチル- β -D-グルコサミン = CMP + α -N-アセチルノイラミニル-2,6- β -D-ガラクトシル-1,4-N-アセチル- β -D-グルコサミン。機能: 基質 CMP-シアリン酸の供与体からガラクトースを含む受容体基質にシアリン酸を転移する。 ,オンライン情報: GlycoGene データベース、オンライン情報: ST6Gal I、経路: タンパク質修飾;タンパク質の糖鎖修飾。 ,PTM:HB-6、CDW75、CD76 分化抗原は、この酵素によって生成される細胞表面の糖鎖決定因子である。 ,PTM:可溶性型は、膜型からタンパク質分解によって生成される。 ,類似性:グリコシルトランスフェラーゼ 29 ファミリーに属する。 ,細胞内局在:ゴルジ体トランスシステルナ内の膜結合型。 体液中に分泌される。 ,

研究分野

N-グリカン合成;

画像データ



パラフィン包埋ヒト扁桃腺の免疫組織化学分析、抗体は 1:200 に希釈された